

ワケ
カタチには理由がある(177)

Shape follows Function
& Taste

～コモンウェルス CA-13 ブーメラン(Boomerang)～



(↓ワラウェイ練習・戦闘機と:翼スパンも短くなっている)



本機は、オーストラリアの航空機メーカー、コモンウェルス社が対日戦に向けて開発した戦闘機です。

初期型の CA-12 (CA-13 の初期型) は CA-9 ワラウェイ練習・戦闘機を基礎としながら、エンジンをツインワップス R-1830 エンジンに換装して、1942 年 5 月に初飛行しました。寸詰まりな胴体ですが、そこがとても魅力的に感じます。Wiki によると、結局、日本機と交戦する機会はなかったとのことです。短期間にそこそこの独自の機体を作り上げたオーストラリア産業の底力を感じることができます。この機体は古くからエアフィックスのシリーズに上がっており、トミー・エアフィックスのブリスターパックでも売られていたため、何時かこのオーストラリア軍の白い尾翼の機体を作りたいと思っていました。今回、”こん棒”型の消炎排気管を有する CA-13 を、CA-9 ワラウェイとともに作ってみました。



【模型について】

キウイマークでお馴染みの、ニュージーランドのタスマンモデル(Tasman Model)1/72 の簡易インジェクションキットです。正直、スペシャルホビーからも高水準のインジェクションキットが出ており、正直、タスマンモデルのこのキットはモールドが甘く、かつプラ材が硬くて作りづらいかったです。しかし、存在感のある、メタル製の排気管やファルコン製であろう美しい塩ビキャノピーは、その欠点を補って余りある魅力があり、こちらを選択しました。(中川裕幸 2025年12月)